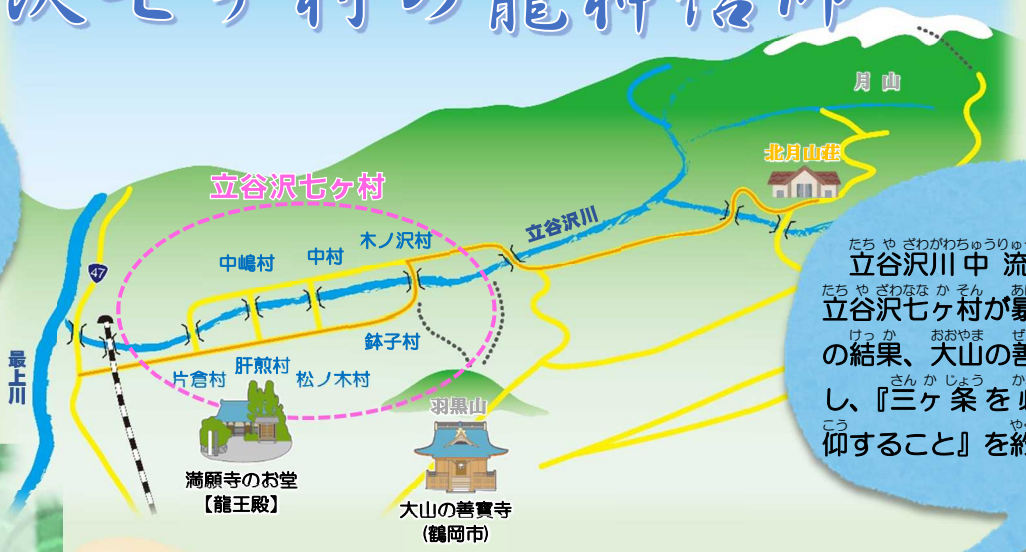
立谷沢七ヶ村の龍神信仰



右下の古文書は洪水の難を逃れようと誓った定書で、いかに災害に悩んだかが分かります。

『人事を尽くしてもどうにもならない、此上は龍神のご加護を待つより仕方がない』という村人達の切なる思いが表れています。



立谷沢川中流から下流の７つの村、立谷沢七ヶ村が暴れ川に困り果て、相談の結果、大山の善寶寺にご祈祷をお願いし、『三ヶ条を必ず守って龍神様を信仰すること』を約束しました。



大山の善寶寺（鶴岡市）



龍王菩薩

満願寺では善寶寺の龍王菩薩(龍神)を迎え、龍王殿を建立してそのご加護をお願いしました。

龍王殿には善寶寺からの分霊御札も祀られています。

御札



裏　表



満願寺の龍王殿



満願寺（庄内町）

村の人々が誓った三ヶ条（現代語訳版）

一.月に四日殺生禁断日を設けます

一.やな漁は今後一切行いません



やな漁

道の駅白鷹ヤナ公園ＨＰより

近隣の村々共同で断ち物を行うことで、一層念力が強くなると考えたようです

仏教では、生き物を殺すと祟りが起き、この世に害を及ぼすと考えられています



一.年に一回満願寺の龍王殿で龍神供養の祈祷を行い、それに先だって大山の善寶寺に村の代表者を出して龍神供養を行います

当時は現庄内町から鶴岡市まで徒歩で往復し、２日間かけて参拝していたようです